

かながわの交通 2020 5

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)
～一般部門B～ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

子も親も 自転車乗る時 ヘルメット

交通安全大使委嘱式



「交通安全大使」つるの剛士さん (横浜市中区)



道路横断には気をつけて!
高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

○県内の交通事故発生概況(令和2年4月末現在) ○県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死者数	傷者数
令和2年	6,583	54	7,653
平成31年	7,725	41	9,002
増減数	-1,142	+13	-1,349
増減率	-14.8%	+31.7%	-15.0%

	総数	男	女
県人口	9,204,965	4,586,206	4,618,759
免許人口	5,650,515	3,220,786	2,429,729
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和2年4月1日、免許人口は令和2年3月末現在)



二輪車交通事故防止及び暴走族追放運動

○ 期 間

令和2年6月1日(月)～6月30日(火)の1か月間

○ 趣 旨

この運動は神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の高揚を図るとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を高揚して暴走族への加入防止と離脱の促進を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。

○ スローガン

- ◇ 運転に ゆとりやさしさ 思いやり
- ◇ 暴走は しないさせない ゆるさない

○ 重 点

- 二輪車の交通事故防止
- 暴走族の追放

○ 交通安全協会の主な推進事項

- 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族への加入防止などの安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。



自転車マナーアップ強化月間実施中

各地区協会では、自転車マナーアップ強化月間である5月中、主要交差点や駅頭などで各種広報啓発活動を展開し、自転車利用者の交通ルールの遵守、マナーアップを呼びかけています。



令和2年度「自転車交通事故多発地域」

神奈川県交通安全対策協議会（会長：黒岩県知事）は、令和元年中の自転車交通事故件数の割合（構成率）が県内平均（23.3%）より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計20市區町村を5月1日付けて「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

指定地域	
市	茅ヶ崎市、大和市、藤沢市、平塚市、厚木市
区	横浜市鶴見区、金沢区、瀬谷区、戸塚区、川崎市川崎区・幸区・中原区・高津区・多摩区 相模原市中央区・南区・緑区
町村	寒川町、開成町、清川村

※ 下線は昨年も指定

「春の全国交通安全運動」実施結果

春の全国交通安全運動が4月6日(月)から15日(水)までの10日間行われました。各地区交通安全協会では新型コロナウイルス感染症対策の影響で街頭キャンペーン等が一部中止となった地区もありましたが、地元警察署と連携し交通事故防止を呼びかけました。

期間中の交通事故の発生状況については、交通事故発生件数、死者数、負傷者数は前年の同じ時期と比べ、いずれも減少しました。

子どもと高齢者の交通事故も減少しました。



(神奈川交通安全協会)

◇ 県内の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本年	451 (26)	0 (0)	534 (26)
前年同期比	-173 (-24)	-4 (±0)	-191 (-26)
増減率(%)	-27.7 (-48.0)	-100 (±0)	-26.3 (-50.0)

※()内は、子どもの交通事故

- ◎ 「交通事故死ゼロを目指す日(4/10)」の交通死亡事故
 - ・ 神奈川県 0件0人 ・ 全国 6件6人

● 全国の交通事故死者数、ワースト順位

順位	1	2	4	5								全 国
都道府県	愛知	東京	埼玉	香川	宮城	山形	福島	群馬	千葉	大阪	兵庫	福岡
死者数	6	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3
前年同期比	+2	+4	±0	+2	+2	+3	+1	+2	+2	+1	-2	+2

※ 神奈川県は、死者数0人でした。



◆◆◆ 神奈川県警察の「交通安全大使」に委嘱 つるの剛士さん ◆◆◆

県警は春の全国交通安全運動初日の4月6日(月)県警察本部において、藤沢市在住のタレント、つるの剛士さんを交通安全大使に委嘱しました。

中崎敦交通部長から委嘱状を手渡されたつるのさんは、「交通事故は一瞬で全てを失ってしまうこともあります、一人ひとりの心がけが大切」と交通ルールを守るよう訴えました。

つるのさんは、動画投稿サイト「ユーチューブ」の県警交通総務課公式チャンネルにも出演して、交通安全を呼びかけました。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスへの感染やそのおそれを理由に、運転免許証の通常の更新手続を受けることができない・できなかった方については、以下のとおり対応します。

免許証の更新期限が過ぎてしまいそうな方

更新期限の前に、運転免許センターに郵送で申請していただくか、又は運転免許センターや警察署にご来場の上、申請していただくことで、3か月間運転が可能となります（※）。

手続きをせずに有効期間が過ぎると免許は失効し、運転はできなくなります。

【対象者】

免許証の更新期限が令和2年3月13日～7月31日までの間である方

※ 延長された期間内に、講習の受講や適性検査の受検を含む、通常の更新手続を改めて受けさせていただく必要があります。

免許証の更新期限が過ぎてしまった方

更新期限までに更新手続を行うことができず、運転免許を失効させた場合には、
運転免許の失効から最長3年以内かつ新型コロナウイルス拡大の終息から1か月以内
であれば、学科・技能試験を受けることなく免許の再取得が可能です。

また、この場合、通常の再取得手続よりも手数料が減額されますのでお申出ください。

※ 手続は運転免許センターのみとなります。

詳しくは、運転免許センターまでお問い合わせください。

問合せ先：神奈川県警察運転免許センター 045-365-3111

道路交通法の一部を改正する法律案について

「あおり運転」の罰則が強化されます（2020年導入予定）

あおり運転を「妨害運転」と規程し、具体的な運転行為を明示

～通行妨害目的で、一定の違反行為で交通の危険を生じさせるおそれのある行為～

○ 一定の違反行為とは

- ・対向車線からの接近
- ・急ブレーキ
- ・車間距離不保持
- ・割り込み
- ・危険な追越し
- ・パッシング
- ・不必要的クラクション
- ・幅寄せや蛇行運転
- ・最低速度未満での走行
- ・違法な駐車

○ 罰則 3年以下の懲役または50万円以下の罰金

○ 一定の違反行為を犯して

- ・高速道路等での停車させる行為や道路での著しい危険を生じさせた場合

○ 罰則 5年以下の懲役または100万円以下の罰金

○ 行政処分の強化、違反点数15点以上で免許の取消処分の対象に追加



第22回セーフティ・チャレンジ・かながわ 無事故・無違反コンクール

● 申込期間

2020年4月16日(木)～6月30日(火)

● コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)

2020年7月1日(水)～12月31日(木)

● 参加要件

- ◇ 神奈川県内に在住・在学・在勤または仕事等のため、県内で自動車等を運転する方3人一組で構成するチーム
- ◇ チームの全員(3人とも)が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること



● 参加区分

- ◇ 一般チーム： 年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム
- ◇ シルバーチーム： 一般チームのうち、2020年7月1日現在、全員が65歳以上のチーム

● 抽選 2021年2月下旬に抽選・2月28日(日)

当選発表(予定)

● 参加手数料等

- ・1チーム2,010円(運転記録証明書発行手数料
1人670円の実費)
- ・参加者の運転記録証明書は、チーム代表者あてに送付します。

(1年間以上無事故・無違反の方はSDカードを同封します。)

賞品(予定)

特賞 30万円分の旅行券 [1チーム]

1等 15万円分の旅行券 [3チーム]

2等 6万円分の商品券 [5チーム]

3等 3万円分の商品券 [15チーム]

4等 6,000円分の商品券 [100チーム]

5等 2,000円分の商品券 [200チーム]

その他シルバー特別賞あり

令和2年度使用 交通安全スローガンポスター

～神奈川県から2点の作品が入賞～

◎ 警察庁長官賞(優秀作)
運転者(同乗者を含む)へ
呼びかけるもの

◎ 佳作
歩行者・自転車利用者へ
呼びかけるもの



九根次 蓮華 さん
(川崎市立川崎総合科学高等学校2年)



伊藤文人さん
(イラストレーター)

交通事故の悲劇に学ぶ⑧〇

●「命の重み」（会社員：41歳）

私は謝って済むことではないことをしてしまいました。5人のお子様の母親の命を奪ってしまったのです。

ある年の5月の夕方6時頃、私は弟の新築祝としてプレゼントした冷蔵庫が届いたと連絡を受け、家から10キロ位しか離れていない弟の家へ行きました。談笑した後、時計を見ると20時50分であり、明日の仕事は朝早いため車で帰宅しました。慣れた道、見通しの良い直線道路、今まで25年間事故を起こしたことがないという過信もあり、考えごとをしながら時速60キロで車を運転していました。夜、周りは暗いですが、直線の慣れた道、見慣れた景色でした。

その時、道路上の動物の死骸にピックリし、死骸を避けようと左に急ハンドルを切り、左の縁石へ衝突しました。そして、その反動で右ポケットから携帯電話が落ちたので、とっさに拾おうとして下を見たため、私の車は対向車線へはみ出てしましました。対向車線を走っていた車のライトが目の前にありました。「やばい」と思った瞬間、今まで聞いたことのない激しい音と衝撃があり、左腕には力が入らず、顔は燃えるように熱くなっていました。正面衝突していたのです。顔からは出血し、左腕は折れ、意識朦朧としながら被害者の車の方へ救護するため、足を運んでいました。救急車と警察に連絡をしようとした時、後を走っていた車の女性が降りてきて、「あなたすごい怪我をしているから」と言い、連絡をしていだきました。それでも救護に向かうと、他の女性の方が私を座らせて、「座っていない」と言いました。私はじっとしていられず、2人の子供を車から助け、気を失っている母親にひたすら大きな声を掛けていました。とにかく命だけは助かって欲しい、『相手の方を助けて下さい』と心の中で祈っていました。

私と被害者は、別々の病院に搬送され治療を受けました。私の妻は被害者の搬送された病院に足を運び謝罪をしました。被害者のご遺族は妻に「自分達のことはいいから夫の方に行つてあげて」と言っていただいたそうです。そのことを知ったのは、事故から一日過ぎてからでした。2人の子供のうち1人は軽傷、もう1人は顔に傷が残る大怪我をし、母親は、病院に着いた2時間後に亡くなりました。

被害者が亡くなったことを知り、被害者ご家族のこと、私の家族のことが頭の中を駆け巡り、この先どうなるのか不安になりました。自分の意志ではどうしようもない精神状態になり、「人を殺してしまった、関係のない人の命を奪ってしまった」と大きなショックを受け、私も命と引換に罪を償おうと思っていました。

その日の昼、病室で事情聴取が始まり、警察の方は「あなたも辛いかもしれないけれど、相手の旦那さんは今でも何が起きているのか分からぬと言っていた」と言われました。ご遺族の方々は、現実を受け入れられない強い悲しみ苦しみがあり、夢であって欲しいと思っているに違いありません。話を聞くと、その日は子供の野球道具を買い、家に帰る途中であったと言われました。子供達は新しい野球の道具を買ってもらい、嬉しい気持ちで車の中は幸せな空間だったはずです。その幸せな空間を私の運転で壊してしまいました。私はご遺族の方に電話で謝罪し、お通夜に行くことを許していました。

怒りを我慢し、一言私に被害者ご主人は「やりたくてやった事故ではないと思うから」と言っていただきました。しかし、ご遺族は許すはずもありません。ご主人の弟は私に「見て下さい、5人の子供がいるんです。そのことだけは分って下さい」と言われました。私は1人の尊い命を奪っただけで



イラストは本文とは関係ありません

ではなく、5人の子供のたった1人の母親の命を奪い、謝罪して済むことではないことに心が壊れてしまいました。一緒に車に乗っていたお子さんは、車に乗りたびに事故のことを思い出すでしょうし、5人のお子さん達は運動会や授業参観日、入学式や卒業式があるたびに母親はなぜいないのだろうと思うはずです。四十九日が過ぎ一度だけご焼香を許していただきました。被害者ご主人は無言でじっと私を見つめ、殴りたい気持ちを我慢していました。私に「あなたを殴っても帰ってこない」と言った言葉が心に残っています。

事故から数ヶ月後、私は自動車運転過失致死傷罪の罪で禁錮2年の刑を言い渡されました。刑務所に入り、私は今まで沢山の人に支えられて生きてきたことに気付きました。私の家族も辛く悔めな思いをしながら待ってくれています。私は刑務所の中で守られているのに、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。今、私は刑務所で今後どのように罪を償っていけば良いかを考えなければいけません。私は刑務所で被害者ご遺族にどのように謝罪していくべきか、自分のことばかりを考えず、ご遺族の都合に合わせて謝罪しなければならないのです。

私は、心の矯正を通じて、自分と向き合い、事故のことから目をそらさずにどのように謝罪すべきか考え、自分の犯した罪の重さを受け止めることが大事だと学びました。私の償いは刑務所を出所してからがスタートラインです。ご遺族のお気持ちを考え、私の起こした事故により、大切な母親の命を奪われてしまったご遺族の心の辛さ、苦しさ、悲しさを感じ、少しでも心の回復をしていただけるような行動、謝罪をしなければいけないので。何十年経っても今の気持ちを忘れず、今以上に心から謝罪できるよう刑務所生活を送り、ご遺族と向き合い、謝罪の言葉を伝え続けます。

最後に、事故は一瞬の心の油断から起こるということを忘れないで下さい。自動ブレーキなど自動車メーカーの技術は進歩していますが、自動車の進歩だけでは駄目です。運転するすべての人が心の進歩をし、心を磨くことが大事だと私は思います。私のように大丈夫と思う人がいなくなるように、運転する人は、人の命を奪う可能性はゼロではないことを忘れないで下さい。起こしてからでは遅いのです。心を磨き、交通ルールを守って下さい、お願いします。加害者も被害者にも辛さ、苦しさ、悲しみしか生まれないので。私の手記を読んで今からでも運転するリスクと命の重みを考え、少しでも私のような事故が減ってくれることを心から願っています。

わたらうか 迷う気持ちは 赤信号

この人
169



工藤
明さん
くどう
あきら
会長
青葉交通安全協会



こんにちは 「港南交通安全協会」です

コロナウィルス肺炎対策で大変な時期、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。厳戒態勢の中、医療機関の皆様には感謝の日々です。

窓口では自分がクラスターにならないようにうがい、手洗いの徹底をしています。

港南交通安全協会は現在、港南区民の皆様のご協力の下、高森会長を筆頭に多くの交通安全ボランティアの方々と事務局スタッフ4名体制で活動しています。

港南区は昨年、区制50周年記念事業が無事終了しました。また、区役所が進めている、朝8時、午後3時に行っている児童の登下校見守り活動「港南ひまわり83(はちさん)運動」の取り組みに協力している関係から、免許会員のご協力金で毎年作成し小学校の入学式に合わせて配布しているランドセ

今回は、青葉交通安全協会会長の工藤明さんを紹介します。

工藤会長は、昭和16年生まれで、出身は、茨城県です。交通安全協会では、各役員を経て、平成18年に会長に就任されました。

会長は、温厚誠実な人柄で人望も高く、自治会連合会会長を始め多数の団体の役職を兼任され、多忙な日々であります。持ち前のバイタリティと生来のボランティア精神を遺憾なく發揮しています。日頃から「仁愛尊敬」を座右の銘として「聞く・伝える・学ぶ」をモットーに、関係機関・団体との「和」を大事にしながら、交通安全活動の先頭に立ち、会長以下120名が一丸となって、飲酒運転訪問では店主や従業員に、駅前の買い物客など駅利用者に、主要交差点ではドライバーなどに働きかけを行いハンドルキー・パー運動の普及・拡大等を推進するなど「飲酒運転根絶」に力を入れております。

各季の交通事故防止運動等においては、東急線各駅前や各種イベント、スポーツ広場での交通安全フェア開催などで各種キャンペーンを強力に展開するほか、重大事故が発生した場合は、いち早くアクセス

で情報発信するなど悲惨な交通事故防止を訴えています。

これらの活動は警察のご指導をいただいておりますが、関係機関団体との連携はもとより、バス会社の協力を得て車内放送による広報活動、実車体験、区内大学の生徒による交通安全標語ポスター看板の作成掲出や生徒や俳優の参加するキャンペーン活動等で交通安全教育、広報啓発活動効果を高め、交通死亡事故は1年以上にわたり「0」を更新しており改めて感謝申し上げる次第であります。

一方、近年少子化や運転免許返納により更新者が減少している現状に、会長自ら先頭に立ち、あらゆる機会を通じて交通安全に対する啓蒙活動の重要さを唱え、また、窓口業務においても会員勧誘に際して、日頃の交通安全活動を紹介するなどの施策をとりながら、協会事務局員が一丸となって毎日200人を超える来訪者に働き掛け、新たな若い会員を増加させたいと抱負を語っております。

(取材協力:青葉交通安全協会)

ルカバーの絵柄を、マスクキャラクター(83太郎)に変更しました。

例年なら満開の桜の下で可愛らしい一年生の元気な声が聞こえてくる時期ですが、今年は残念な限りでした。

3月末で交通事故死者が全国ワースト1位の神奈川県!卒業式や入学式の中止、お花見の自粛、楽しみにしていた「東京オリンピック2020」の延期など、暗いニュースであふれるこの頃、外出自粛により交通事故は減少されるのでしょうか?規制が終了した後、外出する方が増加すれば交通事故も増加傾向にならないか心配です。

新年度を迎えて、キャンペーンやイベントが中止され、地域での交通安全講習会、休校により交通安全教室も開けないことから、協会窓口や更新時講習で交通事故防止のお願いをしている毎日です。

自宅待機により、自転車で行動している方が多くなったように感じています。5月は「自転車マナー



アップ強化月間」、自転車の安全な乗り方の周知、交通ルールの遵守を呼びかけていきます。

日々の小さな積み重ねが、交通事故防止の近道と信じ「交通死亡事故ゼロを目指して」今後も広報啓発活動に取り組んでいきます。

最後になりましたが、次回またご挨拶ができる機会にはきっと楽しいご報告できると期待し、コロナウィルス肺炎の早期の終息と皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

(堀内 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



神奈川 白幡幼稚園での交通安全教室



都筑 センター南駅前での交通安全キャンペーン



栄 公田交差点での「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン

交通安全 街頭活動



山手 横浜みこころ幼稚園での交通安全教室



厚木警察署管内 新入学児童に対する交通誘導活動



座間 警察署周辺での交通安全キャンペーン

イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

● 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 6月中

贊助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 神奈川東部ヤクルト販売(株)管理部 川崎市高津区千年
- 平田自動車工業(株) 大和市上和田
- 日産自動車(株) 横浜市西区高島

贊助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。